

第2号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
事業計画（変更計画）書

平成26年4月16日

1 実施主体

(1) NPO法人等が申請する場合

NPO法人等 (実施主体)	種別及び名称	特定非営利活動法人シニア人財倶楽部		
	住所	いわき市平字童子町2番地10		
NPO法人等 (連携先)	種別及び名称		担当者名	
	住所		電話番号	
会議体に参画 する行政	名称及び部課名		担当者名	

(2) 協議体が申請する場合

協議体の名称				
代表構成員の団体名 及び代表者職氏名				
構 成 団 体	都道府県・市区町 村名及び部課名	事業における 役割		
	民間非営利組 織の種別・名称		事業における 役割	
	住所		電話番号	

2 事業概要

事業名	仮設住宅居住の高齢者の孤立を防ぎ心身の解放を図るコミュニティづくり事業
総事業費	2,822,000円（うち希望補助金額 2,257,000円）
事業の実施期間	平成26年6月下旬から平成27年3月31日まで

注：補助対象期間は補助金の交付決定日からとなります。

3 事業計画

地域における 課題と事業の 目的	地域課題、地域社会にとっての必要性（ニーズ）及びその確認方法、重要性、この事業により期待できる成果、地域住民への効果等がわかるように記載してください。 未だ市内の各仮設住宅に居住する住民にとっては、住居の質を含めた閉鎖的な環境、家族や友人との離散、先行き不透明な入居期間など、慣れない土地での避難生活が心身に悪影響を及ぼしている。特に移動手段を持たない高齢者にとっては、その影響が顕著である。
------------------------	---

	<p>弊法人はこれら各仮設住宅を巡回して生鮮食料品等の移動販売事業を実施しているが、利用者達から「一人暮らしで寂しい」、「閉塞的な仮設住宅エリアから出たい」「日々コミュニケーション不足で寂しい」という声が多く聞かれる。</p> <p>復興庁の調査による住民意向調査でも、避難生活で困っている分野として「コミュニティ形成」が上位に挙げられているが、理想的な町外コミュニティの整備には自治体との協議や造成・建設にかかる課題に加え、地元住民との感情のあつれきの問題も大きく、まだまだ時間がかかるものと思料される。</p> <p>さらに、昨年度弊法人が本支援事業を実施した中で、「すべて無料で提供されるものに参加するのは心苦しい」、「自分たちの手で何かしたい(働きたい)」という声も挙がった。</p> <p>そこで、一時的にでも彼らの精神的な解放を図るイベント等を実施し、自立を促し、生きがいづくりとなる機会を提供するとともに、仮設住宅居住者間だけでなく都市部及び農村部居住者との交流による相互コミュニケーションを通して、新たなコミュニティ作りに貢献することを目的とする。また、過疎化が進む山間部の三和町においては、交流人口増による賑わい創出、地域活性化を目的とする。</p>
事業の目標	<p>「〇〇を〇〇以上にする」等、可能な限り数値を用いて記載してください。</p> <p>三和町の渡戸高野多目的集会所の周囲を、仮設住宅居住の高齢者自らの手により、植栽・花壇づくりなどのガーデニングを計6回実施し(予定)、緑と花に囲まれた憩いの場所とする。</p> <p>また、仮設住宅居住者が気軽に参加でき、リラックスして楽しめるイベント(交流教室)を月1回以上、事業期間内計15回(予定)実施する。1回の参加者は20人程度を見込み、事業実施期間内合計21回程度実施、延べ計500人以上の参加者を見込む。(注:芋煮会は100人以上の参加者見込)</p>
事業内容	<p>事業の内容、実施時期、実施場所(会場)、参集範囲及び参加予定人数等を具体的に記載してください。事業内容が複数に分かれる場合は、事業ごとに記載してください。</p> <p>市内で里山の原風景を色濃く残す三和町の渡戸高野多目的集会所及びその周辺は、昨年度弊法人が本支援事業において複数回のイベントを実施したところ、参加者の仮設住宅居住者らから「郷愁を誘う」と非常に好評であった。しかしながら、過疎地集落の集会所であるため手入れが行き届いておらず雑草に覆われていたりするため、同所に高齢者自らの手で植栽や花を植えるガーデニングを施す。また、同所及び地域交流センター「三和町ふれあい館」等において、都市部居住者や地元住民との交流による相互コミュニケーションを図れるイベントを月1回以上のペースで実施する。</p> <p>仮設住宅の高齢者と一緒に「高齢者の、高齢者による、高齢者のための居場所づくり」として、渡戸高野多目的集会所周辺の草むしり、植栽や花を植えるガーデニング的な軽作業を行う。(イベントで利用させていただく御礼の意も込めて環境美化するものとする。)仮設住宅の高齢者は自家用車などの移動手段を持たない方が中心となるため、送迎用マイクロバスをチャーターして、1回20人程度の参加希望者を募り、作業にあたる。(計6回実施予定)</p> <p>実施時期:平成26年7月から平成27年3月(注:厳冬期12月から2月は休止)</p> <p>実施場所:渡戸高野多目的集会所(三和町)</p> <p>募集範囲:いわき市内の各仮設住宅(泉玉露富岡、銭田、白水、内郷雇用促進住宅、上荒川、作町、四倉鬼越、好間工業団地大熊、林城、中央台、下高久富岡)の居住者</p> <p>参加予定人数:1回の参加者は20人程度を見込み、事業実施期間6カ月で6回、延べ計120人程度の参加者を見込む。</p> <p>事業内容:ガーデニング(草むしり、植栽、種まき、花植えなど)</p>

	<p>また、毎月1回以上のペースで、農作業体験、そば打ち体験、芋煮会等、三和地域での交流イベントを実施する。 実施時期：平成26年7月から平成27年3月 実施場所：地域交流センター「三和町ふれあい館」、渡戸高野多目的集会所、農地（三和町）、他 募集範囲：いわき市内の各仮設住宅（泉玉露富岡、銭田、白水、内郷雇用促進住宅、上荒川、作町、四倉鬼越、好間工業団地大熊、林城、中央台、下高久富岡）の居住者 参加予定人数：1回の参加者は20人程度を見込み、事業実施期間9カ月で15回実施、延べ計380人以上（※）の参加者を見込む。 事業内容： 1. 健康増進・里山散策ウォーキング 2. 農作業体験（野菜づくり） 3. ソバ打ち体験 4. スローフード料理体験 5. 渡戸の獅子舞（県指定重要無形民俗文化財）見学 6. ホタル観賞会 7. 芋煮会 （※芋煮会は100名以上の参加者を見込む） 8. 富岡町デイサービス施設「笑顔」への慰問 （仮設住宅居住者向けの施設で、そば打ち試食会を行う） その他参加者へのヒアリングなどを行い、参加者に喜んでもらえるイベント（交流教室）を月1回以上の頻度で実施する。</p>
見込まれる成果	<p>1. 本県の復興支援・被災者支援の観点 事業によって見込まれる成果について、直接的な効果と波及効果の観点の2つの観点で記載してください。被災者支援の場合は、特に、本事業により支援を受けた被災者の延べ人数を記載してください。 ・高齢者自らの手による癒し空間としての居場所づくり ・高齢者、特に独居老人に対する、他者とコミュニケーションが図れるレクリエーションの提供 ・仮設住宅居住の高齢者の自立を促し、生きがいを提供 ・過疎化が進む農村部のにぎわい創出 事業実施期間9カ月で延べ計500人以上の参加者を見込む。</p> <p>2. 取組実施主体の運営力強化の観点 取組内容により、取組実施主体においてどのように運営力強化が図られるのか記載してください。 ・移動販売事業において、顧客とのより円滑なコミュニケーションが図られる。 ・事業主旨に賛同いただいた方の会員化が図られる。 ・高齢者向けのイベント企画・運営ノウハウの蓄積 ・本事業終了後も継続して利用できる高齢者のための居場所として、三和町（渡戸高野多目的集会所）を拠点とした事業展開ができる。</p>
事業スケジュール	<p>いつ、どのような活動を行うのか、事業の進め方、段取りがわかるように記載してください。 平成25年6月より告知を行い参加者を募り、同年7月よりガーデニング及び前記1～8の各交流イベントを行う。 毎回案内チラシを制作し、移動販売事業の顧客に配布及び各仮設住宅の掲示板や集会所等で告知する。</p>
事業実施体制	<p>事業の実施責任者、会議体の構成員の名称及び役割分担等を記載してください。複数の団体が連携して申請する場合は、連携の具体的な内容についても記載してください。 実施責任者：藁谷道弘（代表理事） 1. ガーデニング担当：田子清治（理事） 2. 健康増進・里山散策ウォーキング担当：梅津千博（理事） 3. 農業体験（野菜づくり）担当：北村浩二（理事） 4. スローフード（田舎料理）体験担当：藁谷勝基（正会員） 5. ソバ打ち体験担当：横山隆作（理事）</p>

	<p>6. 渡戸の獅子舞（県指定重要無形民俗文化財）見学担当：吉田晴紀（理事）</p> <p>7. ホタル観賞会担当：眞野隆則（活動会員）</p> <p>8. 富岡町デイサービス施設「笑顔」慰問担当：横山隆作（理事）</p> <p>9. 企画・広告宣伝他事務及び運営担当：藁谷貴実人（事務長）</p>
事業終了後の展開	<p>事業終了後、会議体の取り組みをどのように継続し、または発展させるのかを記載してください。</p> <p>各イベントに参加し地域と良好な関係を築くことができた参加者には弊法人の会員となっただき、各種事業に適時参加していただく。</p> <p>また、引き続き渡戸高野多目的集会所を拠点としたイベントを催す。</p>
事業の先進性・普及性	<p>どのような先進性を有するか、どのようにして他のモデルとなるのかを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活弱者を優先してサポートする取り組みである ・仮設住宅居住者に対しては、同じ居住空間に赴いてサービスを提供するのではなく、生活区域を離れた場所（三和町）で実施することにより、一時的にでも精神的開放感を味わってもらえる事業である。 ・「高齢者の、高齢者による、高齢者のための居場所づくり」という、先験的なモデル事業と成り得る取り組みである。 ・山間部集落と団地及び仮設住宅居住者とのマッチングによる相互コミュニケーションを通して、にぎわい創出と生活支援（健康増進・余暇の提供）を図るという両者にメリットのある取り組みである。
特記事項	<p>特に説明しておきたい事項、アピールポイント等ありましたら記載してください。</p> <p>弊法人では平成22年度より高台に位置する団地等近隣スーパーの撤退に伴い買い物に難儀している地域（泉ヶ丘ハイタウン、玉川団地、若葉台団地）での移動販売事業を実施していたが、東日本大震災以降は、市内の各仮設住宅（銭田、白水、内郷雇用促進住宅、上荒川、作町、四倉鬼越、好魔工業団地大熊、林城、中央台、下高久富岡）にも範囲を広げて、福島県緊急雇用創出基金事業として実施している。野菜・肉・魚・その他食料品等を販売する現場は団地及び仮設住宅居住者らとのコミュニケーションの場にもなっており、彼らの生活に欠かせない存在となっている。しかしながら、各場所とも週1回の巡回であり、限られた販売時間であるため、もっとゆっくりゆったりとしたコミュニケーションの場を提供したいという思いが強い。</p> <p>一方で、弊法人は平成23年度より同じく福島県緊急雇用創出基金事業「農業農村活性化推進事業」として市内三和地域で農業にも取り組んでいる。</p> <p>また、平成24年度より同地域において同じく福島県緊急雇用創出基金事業「6次産業化による三和地域活性化モデル事業」を受託し、そば店「御食事処なごみハウス」の営業などを行っている。</p> <p>こうした取り組みが評価され、農林省主管の都市と農山漁村の共生・対流表彰事業「オーライ！ニッポン大賞」において平成24年度弊法人が審査委員長賞を受賞した。</p> <p>さらに、平成25年度は本支援事業において「団地及び仮設住宅居住の高齢者の孤立を防ぎ心身の解放を図るコミュニティづくり」事業を完遂した。事業期間中計18回のイベントを実施し、延べ450人超の参加者の満足を得られたことに加え、過疎化が進んでいる山間部の三和町の交流人口増による賑わい創出・活性化に貢献した。</p> <p>これら経営資源及び事業ノウハウを有効活用して、仮設住宅居住者の生活において余暇・コミュニケーションの面で支援し、同時に山村部集落のにぎわい創出を図りながら、新たなコミュニティづくりに寄与したい。</p>

※用紙が足りない場合は、適宜追加してください。

※地域社会にとっての必要性（ニーズ）について確認できる資料（新聞の切り抜きやアンケート結果等）がある場合は、A4用紙1枚（両面可）に限り添付できます。

第3号様式（第4条関係）

地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）
収 支 予 算 書

申請者名 藁谷道弘

【収入の部】

（単位：千円）

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
ふるさと・きずな維持・再生 支援事業補助金	2, 2 5 7	
自己資金（負担者名）		
シニア人財倶楽部	5 6 5	
事業収入		
その他収入		
収入合計	2, 8 2 2	

【支出の部】

（単位：千円）

区 分	平成 年度 予 算 額	明 細
人件費（共済費を含む）	3 2 0	企画・告知担当職員人件費 8,000 円×20 日（回）×2（各イベント準備に 1 日、各イベント当日の同行・運営に 1 日）×1 人 = 320,000 円
報償費	2 2 2	イベントサポートスタッフ（役員）謝金 5,000 円×14 日（回）×2 人 = 140,000 円、交流教室講師謝金 8,000 円×3 日（回）×1 人 = 24,000 円、交流教室講師アシスタント謝金 3,000 円×3 日×2 = 18,000 円、富岡デイサービス施設慰問ソバ打ち出張謝金 5,000 円×1 日×8 人 = 40,000 円
旅費	0	
需用費	7 8 6	
消耗品費	5 7 3	ガーデニング道具一式（各必要人数分）108,000 円、苗木・花苗・種代 108,000 円、肥料代 54,000 円、弁当材料費 @500 円×のべ 480 人 = 240,000 円、飲み物代 @100 円×のべ 480 人 = 48,000 円、富岡デイサービス施設慰問ソバ打ち材料費@

		500 円×30 人=15,000 円
燃料費	8 2	ガソリン代 160 円×60 km×20 日 (回) ×4 (事前打ち合わせ及び各仮設住宅への告知活動含む) ÷10×1.08=82,944 円
印刷製本費	1 2 9	募集チラシ代 @30 円×200 部×20 回×1.08=129,600 円
役務費		
通信運搬費	2 7	携帯電話通話料 月 3 千円×9 ヶ月=27,000 円
手数料	2 1 6	募集告知フリーペーパー掲載料 54,000 円×4 回=216,000 円
保険料	3 8	障害保健加入料 (@80 円×のべ 480 人=38,400 円)
使用料及び賃借料	1, 2 1 5	送迎用マイクロバスチャーター代@43,200 円×19 回=820,800 円、中型バスチャーター代@64,800 円×3 台 (芋煮会)=194,400 円、施設使用料 10,000 円×20 日 (回) =200,000 円
委託料		
支出合計	2, 8 2 2	

注 1 用紙の大きさは、A列4番とすること。欄が足りない場合は、適宜追加してください。

注 2 「明細」欄には各区分の積算内訳として、名称、数量、単価、金額を必ず明確に記載すること。なお、「明細」については別紙として添付しても差し支えない。仕様については別途資料を添付すること。

注 3 行政による他の補助事業も併せて利用する場合は、各補助金の用途を明確に区分し、この資金計画には、ふるさと・きずな維持・再生支援事業補助金を使用する部分の収支のみ記載すること。他の補助事業にかかる収支についてはこの資金計画には計上せず、別様式にて収支予算書を添付すること。また、他の補助事業の内容が分かる補助金交付要綱、要領等、用途の区分が分かる資料を添付すること。